

2017年度決算の概要 及び 2018年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2018年5月15日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2017年度決算の概要	
1) 2017年度 事業概況およびトピックス	…1
2) 決算の概要	…2、3
3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…4
4) 営業外損益及び特別損益の内訳	…5、6
5) 貸借対照表	…7
6) キャッシュ・フロー計算書	…8
2. 2018年度業績予想の概要	
1) 2018年度のトピックス	…9
2) 業績予想の概要	…10
3) セグメント別 売上高・営業利益の予想（対前年決算）	…11
4) 営業利益推移（16年度決算→17年度決算→18年度予想）	…12
5) 事業セグメントの動向	…13、14
6) 営業外損益及び特別損益の内訳	…15、16
7) キャッシュ・フロー計算書	…17
8) 連結経営データ	…18
3. 補助資料	…19~29

1. 2017年度決算の概要

1) 2017年度事業概況およびトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**： エラストマー、機能性コンパウンド及びポリプロピレン・コンパウンドは、主に海外を中心に自動車部品関連材料の堅調な需要に的確に対応。また機能性ポリマーも、ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。
- ◆**ヘルスケア**： ビジョンケア材料、不織布の販売は堅調に推移。歯科材料は、主にドイツにおける販売が減少。
- ◆**フード&パッケージング**： コーティング・機能材、機能性フィルム・シート及び農薬の販売は堅調に推移。
- ◆**基盤素材**： 内需堅調継続、ナフサクラッカーを始めとする設備稼働が高水準で推移。また、石化製品等の海外市況は、堅調な需要を背景に高水準で推移。

<第4四半期のトピックス>

- ・アーク社の株式取得（18年1月）
- ・ワンタッチで遠近を瞬時に切り替えられる、次世代アイウェア「TouchFocus™」販売開始（18年2月）
- ・三井化学アグロ Bayerとの新規殺菌剤 グローバルライセンス契約締結（18年2月）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	16年度決算	17年度決算	増減	増減率
売上高	12,123	13,285	1,162	10%
営業利益	1,021	1,035	14	1%
営業外損益	△ 49	67	116	—
経常利益	972	1,102	130	13%
特別損益	△ 114	△ 160	△ 46	—
税金等調整前 当期純利益	858	942	84	10%
親会社株主に帰属する 当期純利益	648	716	68	10%

為替レート(円/US\$) 108 111 + 3

国産ナフサ(円/KL) 34,700 41,900 + 7,200

配当 (円/株)	中間	25	45	+20
	期末	45	45	0
	通期	* 70	90	+20

*普通配当:60円+記念配当:10円

当社は2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っており、株式併合前の配当金につきましても、遡って当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	17年3月末	18年3月末	増減	増減率
有利子負債	4,399	4,637	238	5%
Net 有利子負債	3,558	3,818	260	7%
自己資本	4,497	5,111	614	14%
Net D / E レシオ (倍)	0.79	0.75	△ 0.04	—
自己資本比率 (%)	33.9	35.4	1.5	—

(単位：社)

摘 要	17年3月末	18年3月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	94	115	21
持分法適用会社	37	39	2
連結対象会社計	131	154	23

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	16年度決算	17年度決算	増減	16年度決算	17年度決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	2,933	3,310	377	407	423	16	34	18	△ 36
ヘルスケア	1,342	1,391	49	101	108	7	20	4	△ 17
フード & パッケージング	1,825	1,958	133	206	199	△ 7	39	△ 21	△ 25
基盤素材	5,656	6,377	721	385	389	4	△ 2	19	△ 13
その他	367	249	△ 118	△ 78	△ 84	△ 6	-	-	△ 6
合計	12,123	13,285	1,162	1,021	1,035	14	91	20	△ 97

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	16年度決算	17年度決算	増減
持分法投資損益	2	71	69
金融収支	△ 21	△ 7	14
為替差損益	△ 13	△ 12	1
その他	△ 17	15	32
営業外損益 合計	△ 49	67	116

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

特別損益		(単位：億円)		
摘	要	16年度決算	17年度決算	増減
資	産 売 却 益	26	36	10
事	業 譲 渡 益	—	6	6
退	職 給 付 制 度 改 定 益	—	3	3
債	務 免 除 益	—	20	20
特別利益計 (A)		26	65	39
固	定 資 産 処 分 ・ 売 却 損	73	24	△ 49
減	損 損 失	41	150	109
投	資 有 価 証 券 評 価 損	2	51	49
そ	の 他	24	—	△ 24
特別損失計 (B)		140	225	85
特別損益 合計 (A-B)		△ 114	△ 160	△ 46

5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘要	17年3月末	18年3月末	増減	摘要	17年3月末	18年3月末	増減
流動資産	(6,789)	(7,495)	(706)	負債	(8,109)	(8,575)	(466)
現預金	841	802	△ 39	買掛債務	1,457	1,622	165
売掛債権	2,717	3,069	352	有利子負債	4,399	4,637	238
たな卸資産	2,475	2,743	268	その他	2,253	2,316	63
その他	756	881	125				
固定資産	(6,466)	(6,946)	(480)	純資産	(5,146)	(5,866)	(720)
有形固定資産	4,094	4,329	235	株主資本	4,378	4,851	473
無形固定資産	352	315	△ 37	その他の包括利益 累計額	119	260	141
投資等	2,020	2,302	282	非支配株主持分	649	755	106
合計	13,255	14,441	1,186	合計	13,255	14,441	1,186

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘要	16年度決算	17年度決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,004	827	△ 177
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 474	△ 751	△ 277
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	530	76	△ 454
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 476	△ 102	374
IV. その他	△ 7	△ 15	△ 8
現預金等増減	47	△ 41	△ 88

2. 2018年度業績予想の概要

1) 2018年度のトピックス

<トピックス(予定)>

- ・米国 3Dプリンター会社 B9Creations社の株式取得
(18年4月)
- ・名古屋工場における高機能不織布設備 営業運転開始予定
(18年度第1四半期、1.5万トン/年)
- ・柔軟性と伸縮機能に優れた高機能不織布設備 営業運転開始予定
(18年度第1四半期、+6,000トン/年)
- ・北米における「ミラストマー®」生産設備着工
(18年度第4四半期、+6,000トン/年、19年度営業運転開始予定)

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	17年度決算 (a)		18年度予想 (b)		増減 (b)-(a)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%
売上高	6,209	13,285	7,150	14,800	1,515	11%
営業利益	482	1,035	470	1,060	25	2%
営業外損益	17	67	50	60	△ 7	-
経常利益	499	1,102	520	1,120	18	2%
特別損益	48	△ 160	△ 30	△ 50	110	-
税金等調整前 当期純利益	547	942	490	1,070	128	14%
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	716	360	800	84	12%
為替レート(円/US\$)	111	111	105	105	△ 6	
国産ナフサ(円/KL)	37,600	41,900	49,000	49,000	+ 7,100	

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減
	45 円/株	45 円/株	50 円/株	50 円/株	+5円/株	+5円/株
90円/株		100 円/株		+10円/株		

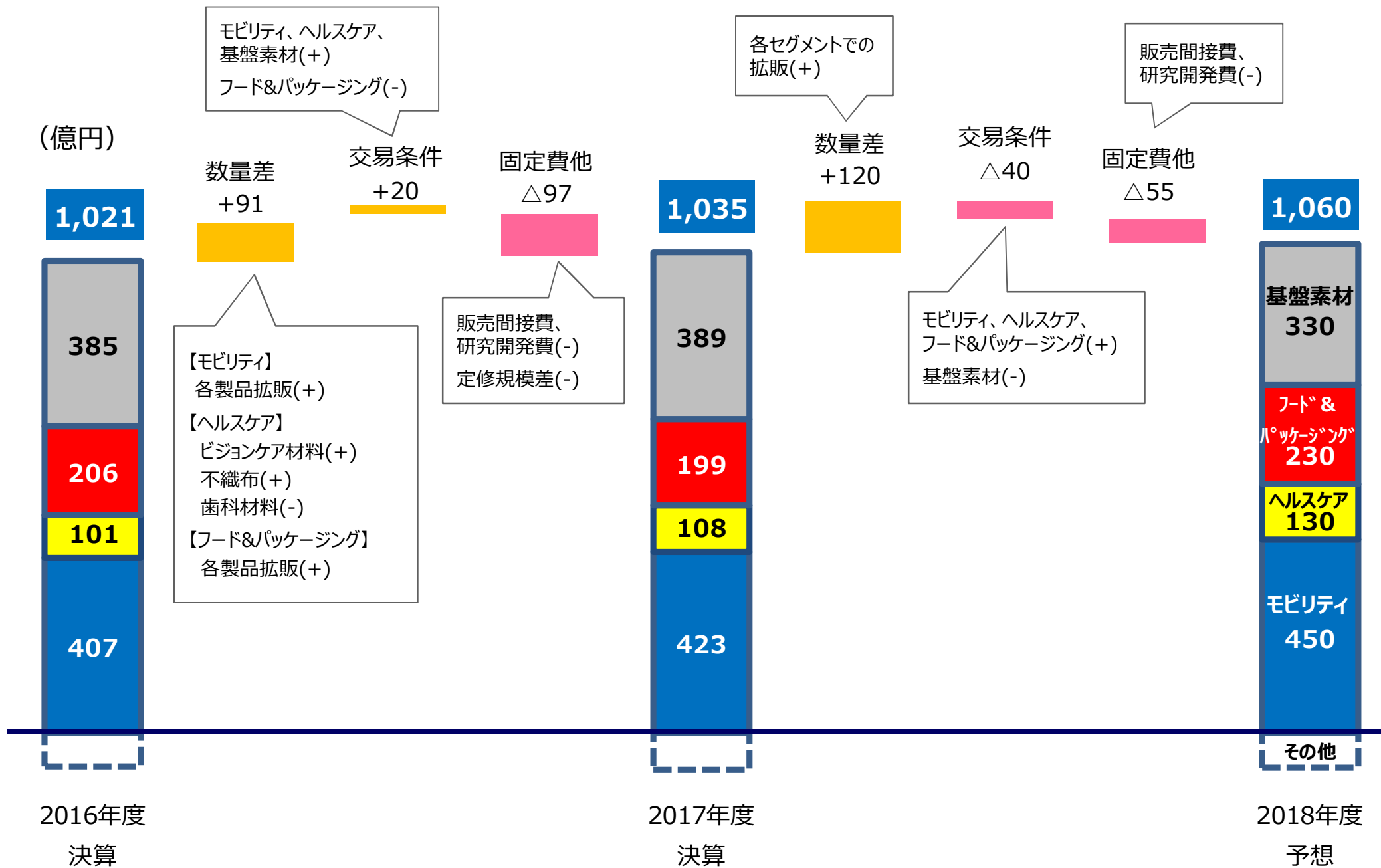
当社は2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っており、株式併合前の配当金につきましても、遡って当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	17年度決算		18年度予想		増減 (b) - (a)	17年度決算		18年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,534	3,310	1,900	3,850	540	220	423	215	450	27
ヘルスケア	681	1,391	730	1,500	109	48	108	55	130	22
フード & パッケージング	950	1,958	1,000	2,100	142	101	199	105	230	31
基盤素材	2,922	6,377	3,400	7,100	723	154	389	140	330	△ 59
その他	122	249	120	250	1	△ 41	△ 84	△ 45	△ 80	4
合計	6,209	13,285	7,150	14,800	1,515	482	1,035	470	1,060	25

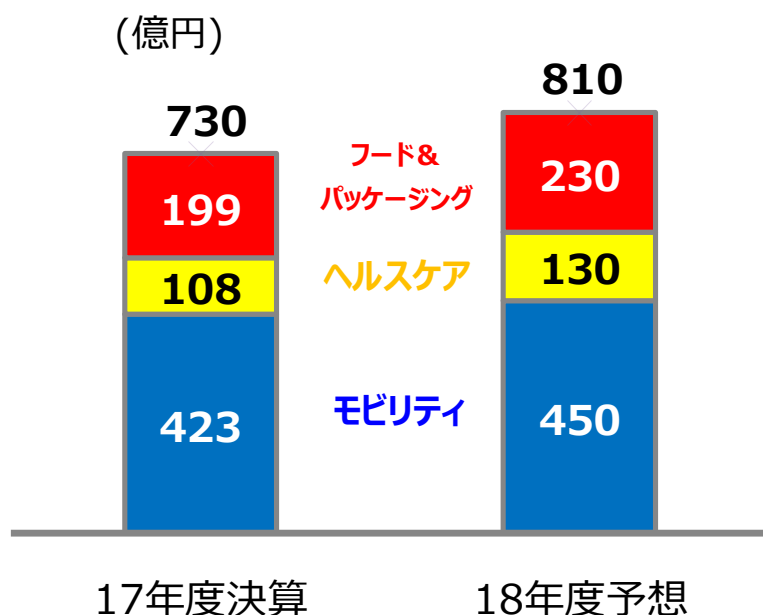
4) 営業利益推移 (16年度決算→17年度決算→18年度予想)



5) 事業セグメントの動向 (モビリティ、ヘルスケア 及び フード&パッケージング セグメント)

<事業環境>

- ◆**モビリティ**: グローバル自動車生産台数は、緩やかに拡大。
また、ICT関連も成長継続。
- ◆**ヘルスケア**: ビジョンケア材料及び不織布の需要は、堅調に推移。
歯科材料は、デジタル製品を中心に需要が拡大。
- ◆**フード&パッケージング**: 需要は、堅調に推移。

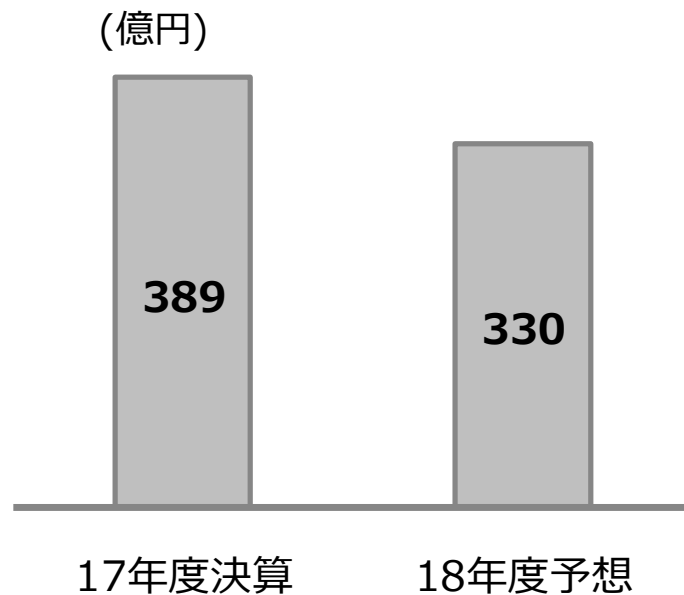


	営業利益の方向感	
	17年度決算 → 18年度予想	
モビリティ	➔	海外PPコンパウンド、エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー拡販(+) 等
ヘルスケア	➔	ビジョンケア材料、不織布、歯科材料拡販(+) 等
フード&パッケージング	➔	コーティング・機能材、機能性フィルムシート、農薬拡販(+) 等

5) 事業セグメントの動向 (基盤素材セグメント)

<事業環境>

- ◆国内石化事業については、内需堅調、設備稼働が高水準で推移。
- ◆石化製品の海外市況は徐々に軟化する一方、フェノール市況は正常化。



	売上高割合 (%)	営業利益の方向感	
		17年度決算 → 18年度予想	
石化原料 及び ポリオレフィン	60%	↘	工ボリュ-拡販(+) 、 交易条件(-) 等
フェノール、PTA・ PET、工業薬品	35%	↗	交易条件(+) 等
ポリウレタン材料	5%	→	

注) セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値です。

6) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	17年度決算		18年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
持分法投資損益	23	71	55	85	14
金融収支	△ 7	△ 7	△ 5	△ 15	△ 8
為替差損益	2	△ 12	—	—	12
その他	△ 1	15	—	△ 10	△ 25
営業外損益 合計	17	67	50	60	△ 7

6) 営業外損益及び特別損益の内訳

特別損益

(単位：億円)

摘 要	17年度決算		18年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
資 産 売 却 益	32	36	—	—	△ 36
事 業 譲 渡 益	—	6	—	—	△ 6
退 職 給 付 制 度 改 定 益	—	3	—	—	△ 3
債 務 免 除 益	20	20	—	—	△ 20
特別利益計 (A)	52	65	0	0	△ 65
固 定 資 産 処 分 ・ 売 却 損	4	24	30	50	26
減 損 損 失	—	150	—	—	△ 150
投 資 有 価 証 券 評 価 損	—	51	—	—	△ 51
特別損失計 (B)	4	225	30	50	△ 175
特別損益 合計 (A-B)	48	△ 160	△ 30	△ 50	110

7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	17年度決算		18年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	491	827	620	1,050	223
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 210	△ 751	△ 450	△ 1,000	△ 249
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	281	76	170	50	△ 26
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 166	△ 102	△ 170	△ 50	52
IV. その他	△ 5	△ 15	—	—	15
現預金等増減	110	△ 41	0	0	41

8) 連結経営データ

項 目		17年度決算		18年度予想	
		4-9月	年間	4-9月	年間
為 替 レ ー ト	円/\$	111	111	105	105
国産標準ナフサ価格	円/KL	37,600	41,900	49,000	49,000
設 備 投 資 額	億円	270	812	460	840
研 究 開 発 費	億円	162	334	180	360
減 価 償 却 費	億円	221	457	240	500
金 融 収 支	億円	△ 7	△ 7	△ 5	△ 15
期末有利子負債残高	億円	4,380	4,637	4,600	4,800
Net D/Eレシオ	倍	0.70	0.75	0.71	0.70
期 末 従 業 員 数	人	13,521	17,277	17,700	17,700

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 主要関係会社の状況
- 5) 財務データ
- 6) 地域別売上高比率
- 7) 2017年度のトピックス

1) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

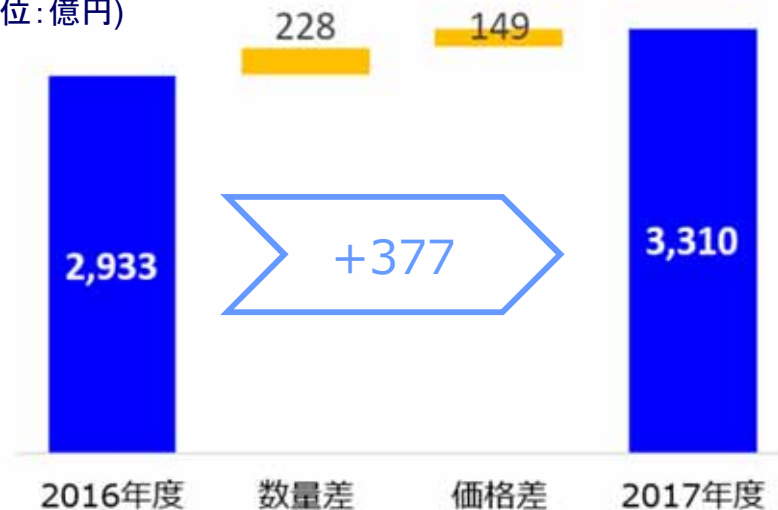
年		2015年			2016年				2017年				2018年
月		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
国産基準 ナフ価格	(円/KL)	48,800	47,200	40,900	34,300	31,600	31,300	34,100	41,900	39,100	36,100	44,600	47,900
PE国内	(円/KG)	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→	△10円 程度	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度
PP国内	(円/KG)	→	→	△10円 程度	△10円 程度	→	△10円 程度	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度
PH国内 (フォーミュラ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$790	\$720	\$610	\$560	\$640	\$640	\$670	\$950	\$790	\$770	\$830	\$920
BPA国内	(円/KG)	→	→	△30円 (10月~)	→	→	→	→	+20円 (3月~)	→	→	→	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,390	\$1,060	\$910	\$940	\$1,140	\$1,130	\$1,170	\$1,360	\$1,200	\$1,220	\$1,420	\$1,670
PTA 中国市況	(\$/T)	\$720	\$630	\$600	\$570	\$610	\$610	\$610	\$670	\$630	\$640	\$690	\$760
PX (*ACP)	(\$/T)	\$930	\$820	\$790	\$720	\$800	\$790	\$790	\$890	\$810	\$800	\$890	\$950
TDI 中国市況	(\$/T)	\$1,740	\$1,570	\$1,510	\$1,510	\$2,080	\$2,360	\$3,590	\$3,480	\$3,500	\$3,680	\$4,380	\$4,470

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



3,310億円 (前年比 +377億円)

数量差 +228億円

- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。
- ・アーク社株式取得影響。

価格差 +149億円

- ・原燃料価格上昇による販売価格の改定。
- ・為替差等。

営業利益増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



423億円 (前年比 +16億円)

数量差 +34億円

- ・自動車用途を中心とした堅調なグローバル需要に的確に対応。
- ・ICT関連用途の堅調な需要に的確に対応。

交易条件 +18億円

- ・為替差等。

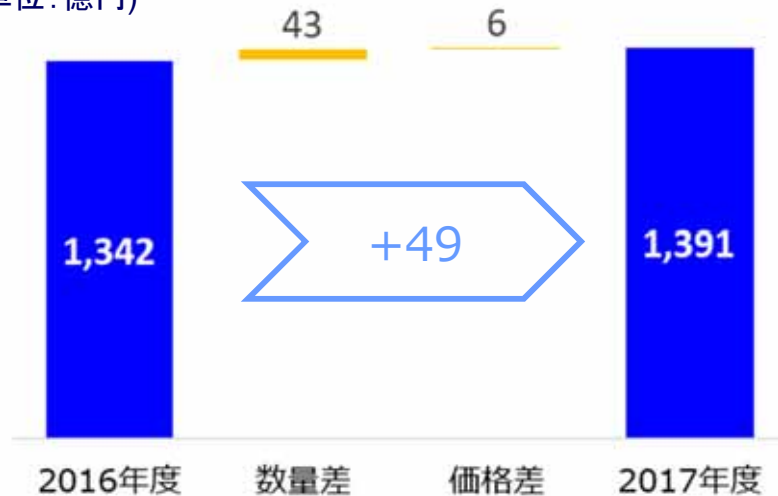
固定費他 △36億円

- ・研究開発費等の資源投入。

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



1,391億円 (前年比 +49億円)

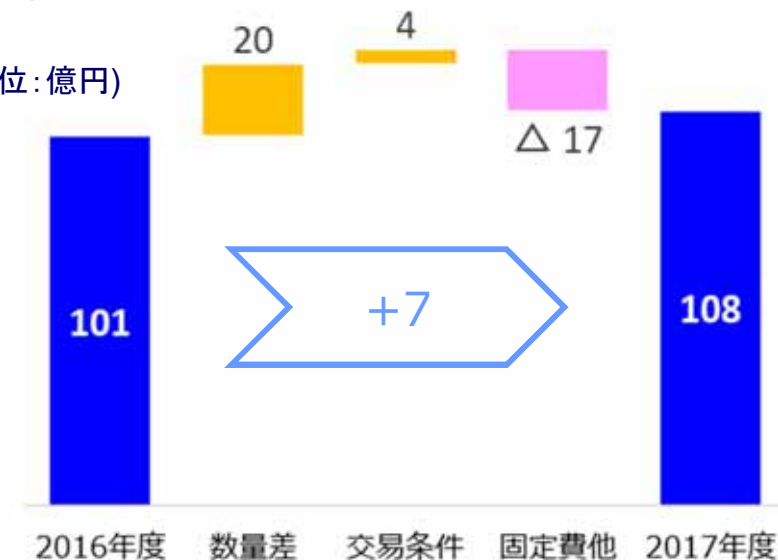
数量差 +43億円

- ・ビジョンケア材料及び不織布の販売堅調。
- ・歯科材料の減販。

価格差 +6億円

営業利益増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



108億円 (前年比 +7億円)

数量差 +20億円

- ・ビジョンケア材料及び不織布の販売堅調。
- ・歯科材料の減販。

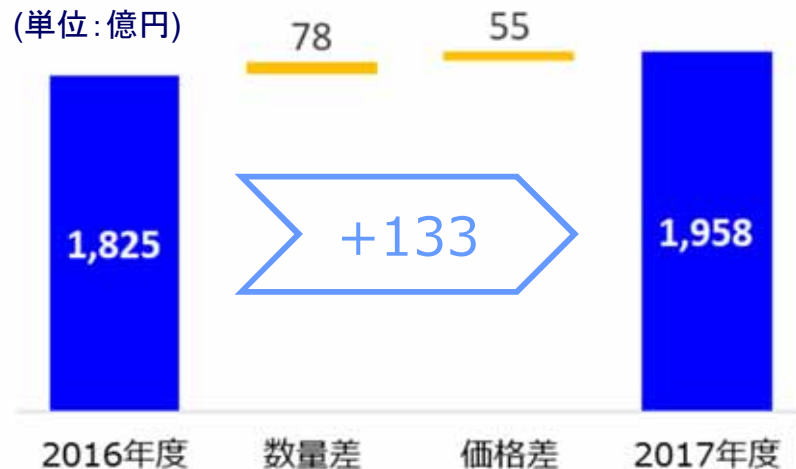
交易条件 +4億円

固定費他 △17億円

- ・研究開発費等の資源投入。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)



1,958億円 (前年比 +133億円)

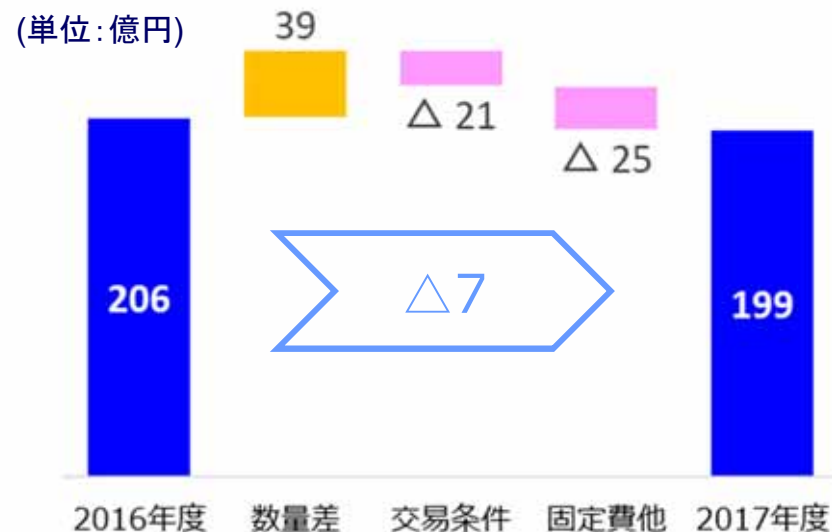
数量差 +78億円

・コーティング・機能材、機能性フィルム・シート、及び農薬の販売堅調。

価格差 +55億円

・原燃料価格上昇による販売価格の改定等。

営業利益増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)



199億円 (前年比 △7億円)

数量差 +39億円

・コーティング・機能材、機能性フィルム・シート、及び農薬の販売堅調。

交易条件 △21億円

・原料価格上昇等による交易条件悪化。

固定費他 △25億円

・研究開発費等の資源投入。

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



6,377億円 (前年比 +721億円)

数量差 +134億円

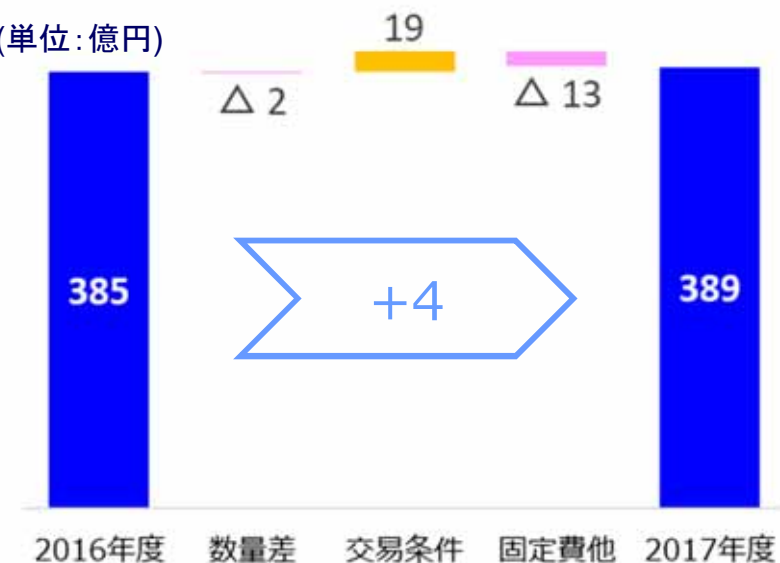
・販売堅調。

価格差 +587億円

・原燃料価格上昇による販売価格の改定等。

営業利益増減 (2017年度決算 対 2016年度決算)

(単位: 億円)



389億円 (前年比 +4億円)

数量差 △2億円

・販売堅調。

交易条件 +19億円

・市況改善等。

固定費他 △13億円

・定修規模差等。

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

売上高推移

(単位：億円)

セグメント	16年度				17年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
モビリティ	747	670	744	772	777	757	814	962
ヘルスケア	351	321	328	342	342	339	353	357
フード&パッケージング	444	439	437	505	458	492	496	512
基盤素材	1,307	1,225	1,422	1,702	1,453	1,469	1,668	1,787
その他	88	95	83	101	60	62	58	69
合計	2,937	2,750	3,014	3,422	3,090	3,119	3,389	3,687

営業利益推移

(単位：億円)

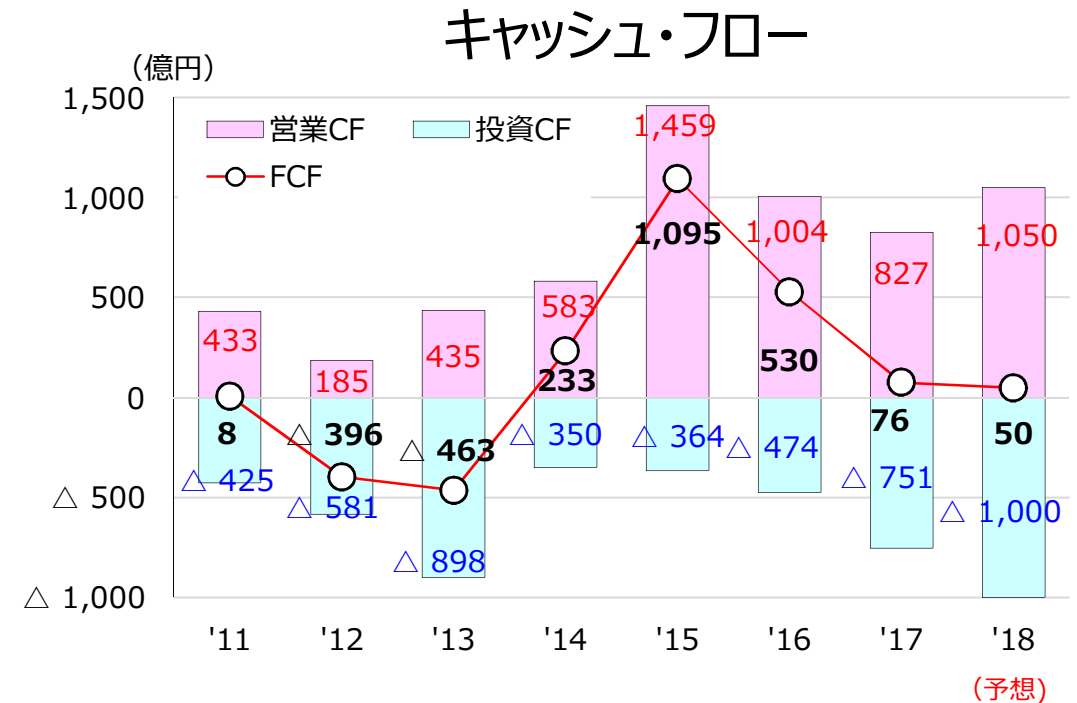
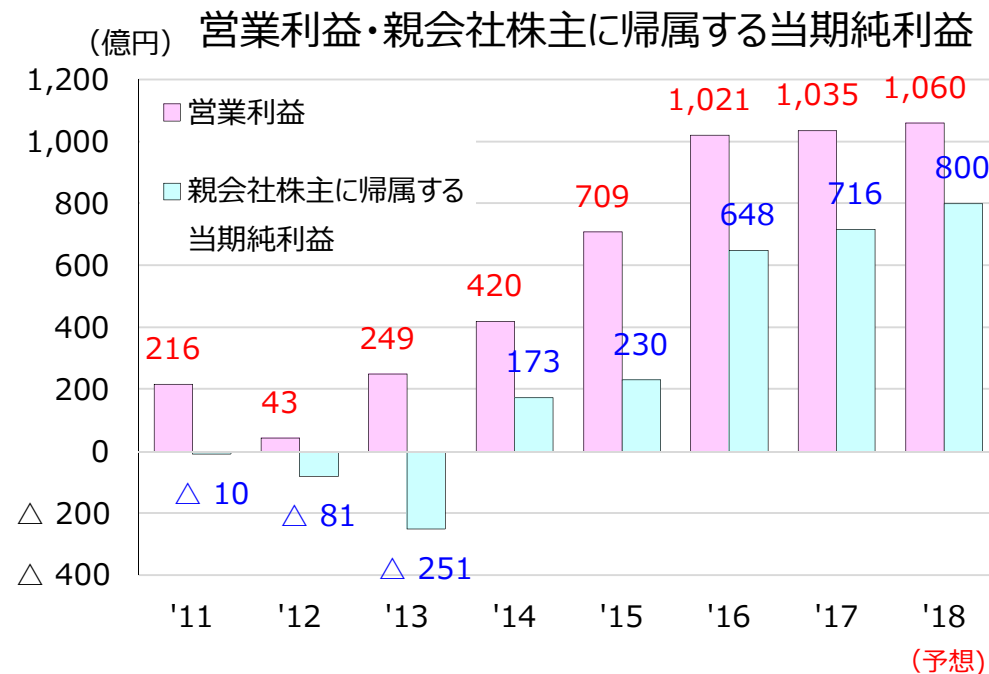
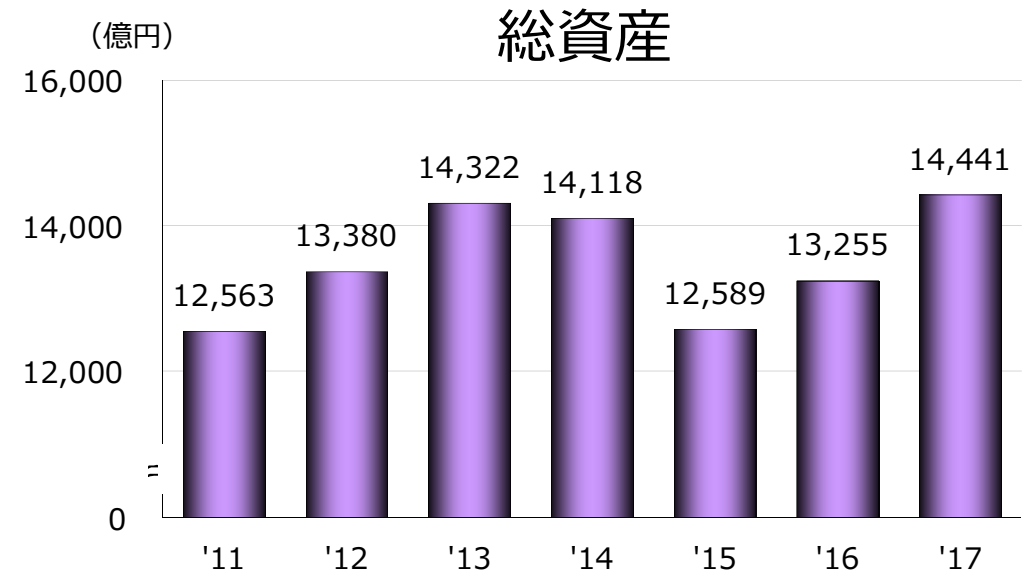
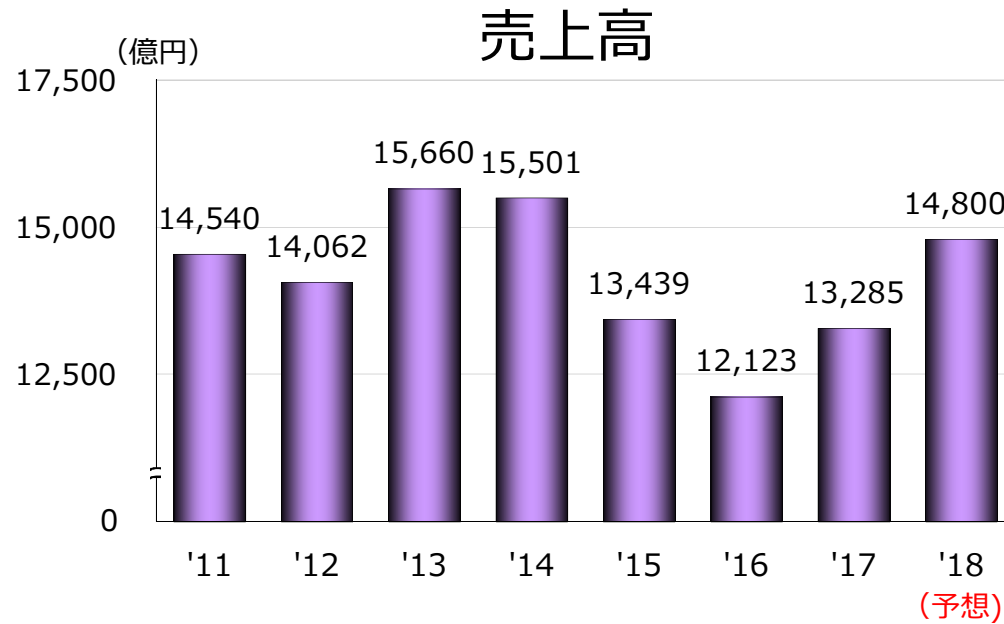
セグメント	16年度				17年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
モビリティ	120	91	100	96	115	105	109	94
ヘルスケア	32	22	25	22	29	19	31	29
フード&パッケージング	57	53	39	57	46	55	44	54
基盤素材	70	48	121	146	108	46	111	124
その他	△ 24	△ 15	△ 23	△ 16	△ 25	△ 16	△ 20	△ 23
合計	255	199	262	305	273	209	275	278

4) 主要関係会社の状況

項 目	当社シェア	売上規模 (17年度)	営業利益	
			17年度	18年度予想 ※
連結子会社	%	億円		
プライムポリマー	65.0	2,300	黒字	→ 交易条件(-)
アドバンスド・コンポジット	61.8	1,000	黒字	→
三井フェノールズ`シンガポール	95.0	600	黒字	→
三井エラストマーズ`シンガポール	100.0	500	黒字	→
三井化学東セロ	100.0	800	黒字	→
三井化学アグロ	100.0	400	黒字	→
持分法適用会社				
三井・デュポンポリケミカル	50.0	400	黒字	→
三井・デュポンロケミカル	50.0	300	黒字	→
上海中石化三井化工	50.0	400	赤字	↗

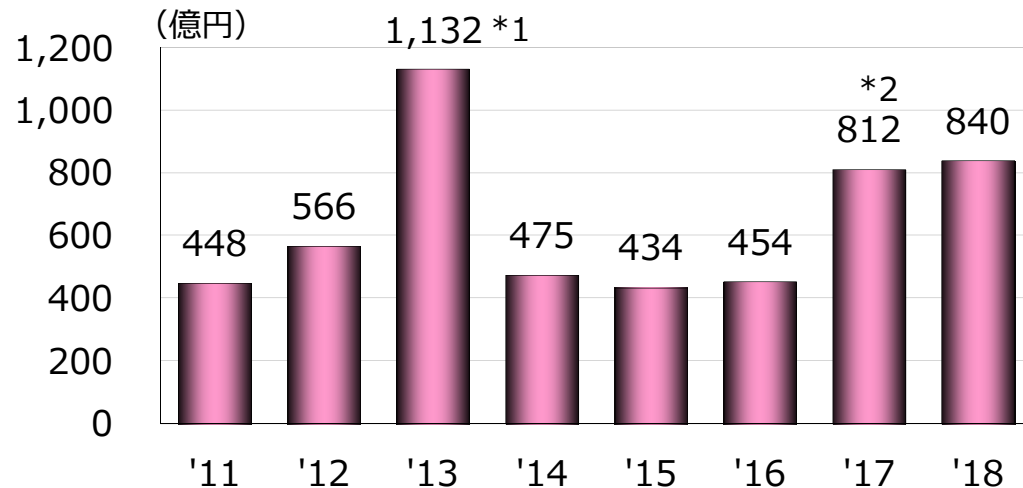
※ 営業利益：→は、対17年度5億円未満の増減。

5-1) 財務データ



5-2) 財務データ

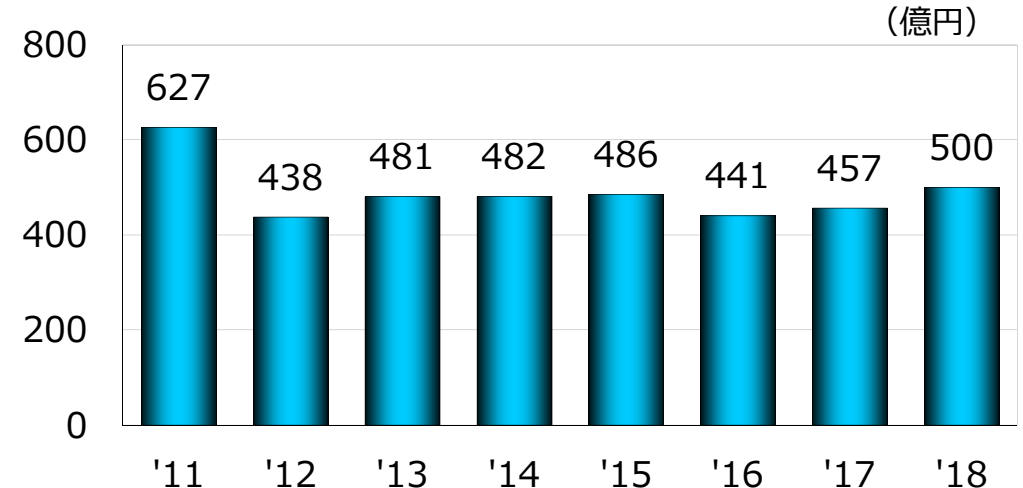
設備投資額



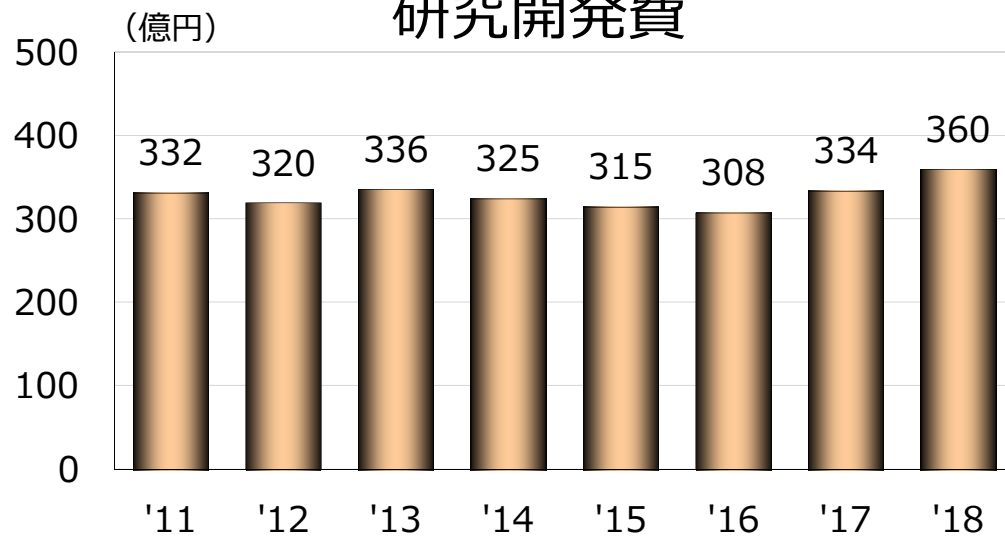
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

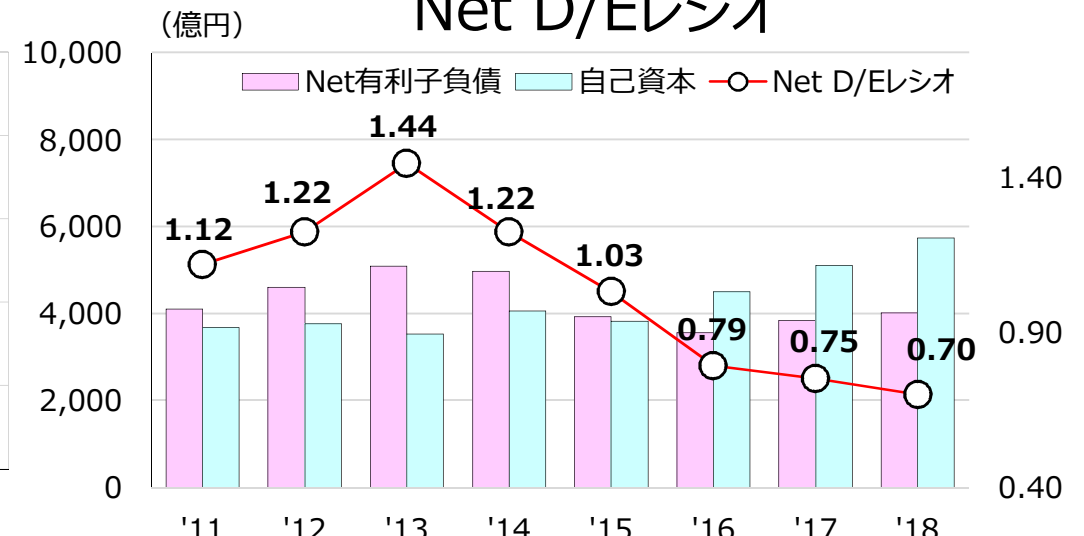
減価償却費



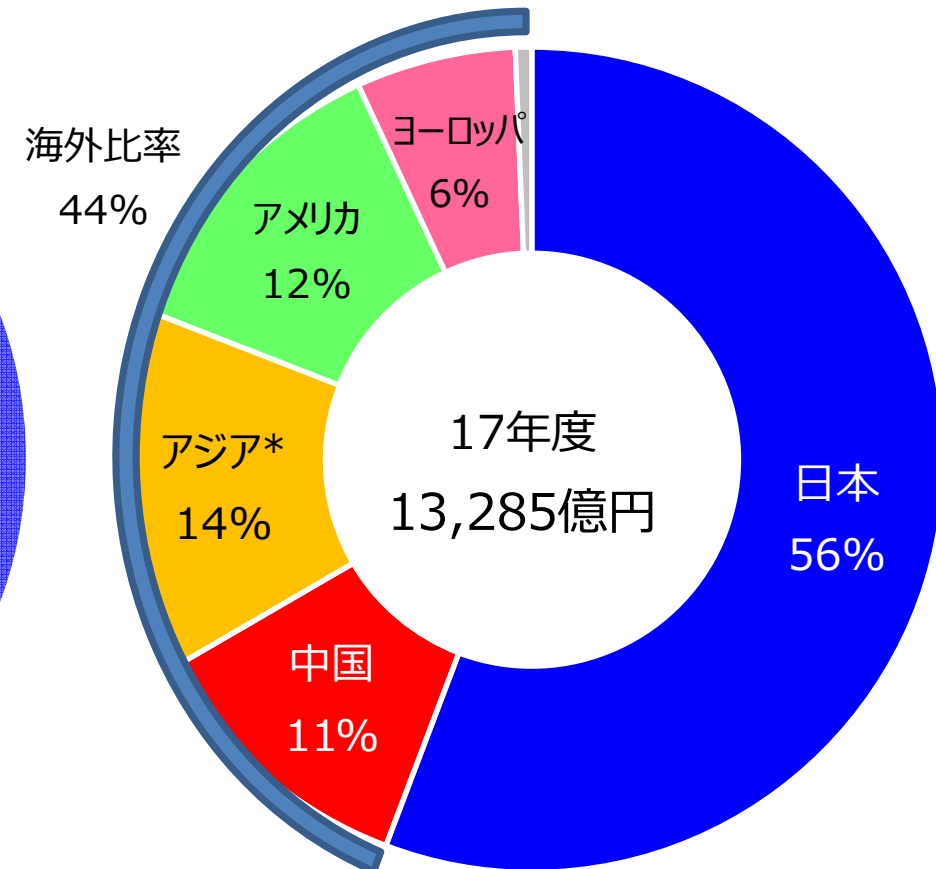
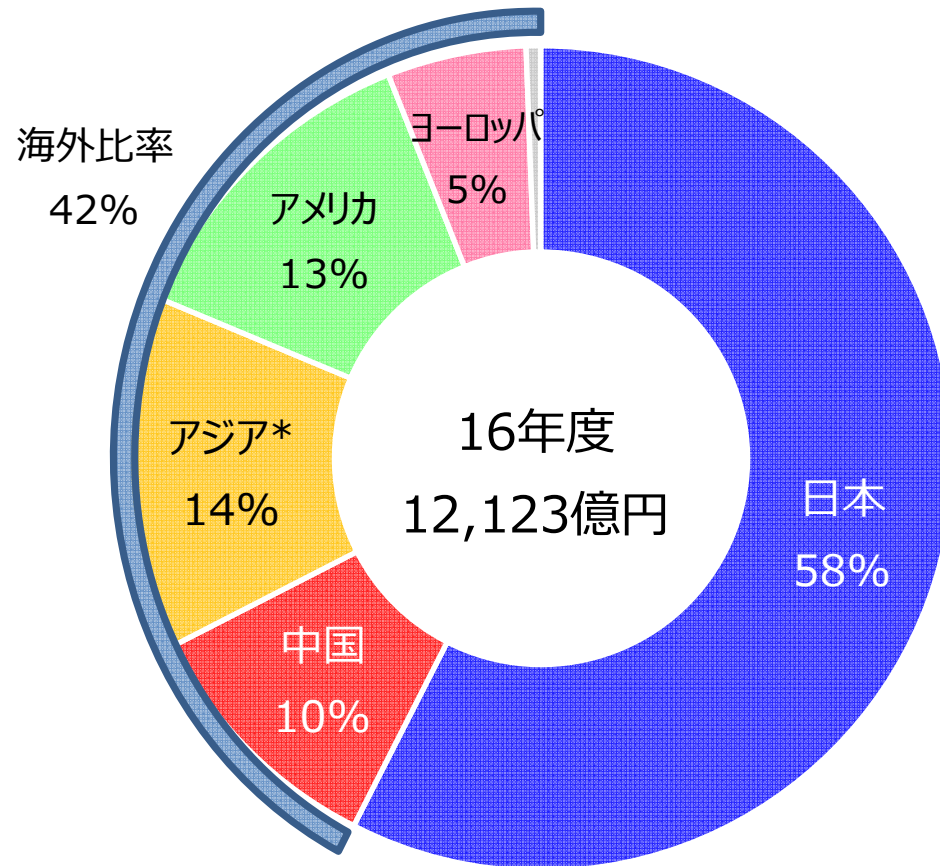
研究開発費



Net D/Eレシオ



6) 地域別売上高比率



* アジア：日本及び中国を除く

7) 2017年度のトピックス

- ・三井化学タイランド株式会社設立（17年4月）
- ・名古屋工場の電解液製造設備の営業運転開始（17年4月、5,000トン/年）
- ・世界初の柔軟高強度不織布「エアリファ™」を開発（17年5月）
- ・ポリプロピレン・コンパウンド能力増強 営業運転開始
（インド 17年5月、アメリカ 17年6月、メキシコ 17年7月。3拠点計 +5万トン/年）
- ・三井化学アグロ インドネシア共和国 PT Agriculture Construction社の株式取得（17年8月）
- ・熱可塑性エラストマー「ミラストマー®」能力増強 営業運転開始（17年10月、+5,000トン/年）
- ・台湾における半導体製造工程用テープ「イクロステープ™」新会社設立（17年11月）
- ・台湾プラスチック社との電解液JV設備増強 営業運転開始（17年11月、+3,500トン/年）
- ・旭化成・スチレン系架橋型熱可塑性エラストマー「サンヴィーオ™」事業買収（17年12月）
- ・三井化学アグロ BASFとの新規作用性殺虫剤 商業化契約締結（17年11月）
- ・アーク社の株式取得（18年1月）
- ・ワンタッチで遠近を瞬時に切り替えられる、次世代アイウェア「TouchFocus™」販売開始（18年2月）
- ・三井化学アグロ Bayerとの新規殺菌剤 グローバルライセンス契約締結（18年2月）



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する